

予算に対する討論の概要

令和6年度予算（一般会計、4特別会計および公共下水道事業会計）に対し、5名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は千円）

会計名	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計	50,891,000	48,567,000	2,324,000	4.8%
特別会計	24,204,040	23,899,961	304,079	1.3%
国民健康保険事業	12,090,540	12,311,897	△ 221,357	△ 1.8%
介護保険事業	9,537,354	9,237,783	299,571	3.2%
後期高齢者医療事業	2,565,150	2,252,748	312,402	13.9%
公共用地先行取得事業	10,996	97,533	△ 86,537	△ 88.7%
企業会計	4,916,985	4,938,974	△ 21,989	△ 0.4%
公共下水道事業				
合計	80,012,025	77,405,935	2,606,090	3.4%

政進会

賛成

○全ての会計予算に賛成

▽自転車用ヘルメットや防犯用品の購入費補助、一元的相談窓口・日本語教育支援・多文化交流を3つの柱とした国際化事業、自治会主催イベントなどに必要な物品の貸し出しなど、市民生活を豊かにする事業の実施によって、一人でも多くの市民に、海老名に住んで良かった、これからも住み続けたいと思っていたことを期待します。

▽よりきめ細やかな移動支援を目指して、デマンド型による高齢者外出支援の実証運行が開始されます。▽がん患者のウィッグ購入費助成や産科有床診療所の運営費補助を新たに実施するなど、現状に満足することなく、常に市民目線で考え実現に向ける行動力を高く評価します。

▽新市街地の形成に向け土地区画整理事業が行われる中新田丸太地区で、道路拡幅整備や交差点改良のための調査・設計が進められ、海老名駅東口の自由通路を延伸するための基本計画が策定されます。安全で回遊性のある良好な歩行空間を確保するこれらの事業を評価します。

▽食の創造館別館が完成し、中学校完全給食が4月からスタートします。海老名産の食材を使用した献立など魅力的な学校給食が提供されることを期待します。▽県内初となる小中学校の教材費無償化が実現されることは、子育て世帯を支援する施策として非常に高く評価しています。

▽昨年4月の「海老名スマデジ宣言」から、本市のDX化は大きく進展しています。DXを推進するためには、自治体と市民がその意義を共有しながら進めることが重要です。デジタル市役所が進むことは多くの人の利便性を向上させるほか、市役所窓口の混雑防止にもつながる、これから時代にふさわしい取り組みであると評価します。

公明党

賛成

○全ての会計予算に賛成

▽自治会や地域活動への物品貸し出しやSNSの活用を打ち出しました。市民生活に密着し地域課題の解決にも不可欠な自治会や地域活動への、さらなる支援と要望の吸い上げの継続をお願いいたします。▽自転車用ヘルメットや防犯用品の購入費補助は、さらなる周知に努め市民の要望に寄り添い、より利用しやすくなるよう要望いたします。

▽防災面では、消防指令センターの共同運用に大和市を加え4市に拡大することでより安心できる体制を目指しています。▽消防団員の年額報酬などの見直しや福利厚生の充実を図り、地域防災力の維持強化を図っています。▽南分署の整備や市内コンビニに常時使用できるAEDを設置するなど、市民の生命を守る体制を強化されています。

能登半島地震の教訓を生かしながら、今後もたゆまぬ努力をお願いします。

▽4月から始まる中学校給食では、安全でおいしい、子どもたちに喜ばれる給食実施に向けて、万全の体制で臨むよう要望いたします。▽小中学校の屋内運動場への空調機設置は、災害時には避難所となりますので、なるべく早期の実施を要望いたします。▽子どもたちの進学や進路が家庭の経済的理由の影響を受けないよう支援する、ライフ・スタイルサポート事業の西部地区への拡大などは、素晴らしい取り組みと評価いたします。どうか学校も含めてきめ細かい対応をしていただき、さらなる充実を目指していただきたいと思います。▽スペシャルサポートルームを小学校全13校に配置し、児童が安心して過ごせる環境整備を進めるとあります。児童一人一人に寄り添ったきめ細かい対応と、有効な活用をお願いいたします。

